

素敵に輝け！

素敵な光景に出会いました

今、2学期の終業式を終えて校長室に戻ってきました。

終業式に先立って行った「今学期、がんばったことの発表」でのことです。各学年の代表がステージに並び、順番に頑張ったことを紹介します。最初は5年のAさんでした。一番手は緊張するものですが、しっかりと頑張ったことを発表しました。次は1年生のBさん。紹介することを書いた原稿を持っていましたが、緊張してなかなか言い出せませんでした。無理ありません。一年生にとって体育館での儀式で、代表として一人で発表するのは初めてのことであります。しばらく静かに時間が過ぎました。すると横でマイクを持ってあげていたAさんが、「これを言われ」「次はここやよ」というように原稿を指さし、教えてあげました。マイクも始めは立って持っていたのですが、しばらくしてしゃがみ、すぐ近くで寄り添って、指さしをしていました。更に背中をちょっと押して、勇気付けてもあげていました。何と素敵な光景なんでしょう。

Aさんの励ましがあって、なかなか言えなかったBさんも最後まで言い切ることができました。Bさんが言い終わった後、Aさんはまた背中をちょっと押してあげていました。「がんばったね」っと。Aさんが機転を利かし、さりげなくしてあげていたことにととても感心しました。



終業式の式辞では、「本当に強い人というのは、諦めそうになったときに、『もう少し頑張ってみよう』と今までの自分を超越しようとする気持ちがある人です。今までの自分を超越するというのは、なかなか難しいことだけど、できたときには自分が成長しているということです」という話をしました。Bさんは、緊張してなかなか言えなかったけれど、勇気を出して言い切ることができました。「頑張ってみよう」と困難を乗り越えたのです。

終業式でこんなに素敵な光景に出会うことができました。思いやりあふれる行動ができたAさん。「頑張ってみよう」と困難を乗り越えたBさん。どちらも素敵でした。